

とソフト麺だけでは栄養素が偏るため、現在は麺の上におかずを載せて、麺と一緒に食べるようにしている。

「麺とおかずを別にして提供すると、まったく食べていただけないのです。ご本人の希望をできるだけ反映するようにした結果、今では全量経口摂取が可能となっています。また、コミュニケーションをとるなかで、ご飯を丸めてつぶし、それをだし汁に入れた『だまっこ』という郷土料理が好みだという話も聞きましたので、それを安全に食べやすい軟らかさにして提供しています」(佐々木さん)

### 誤嚥のリスク低減のため 退苑後も嚥下訓練を続行

同苑ではこのほか、脳梗塞後遺症や加齢による摂食・嚥下障害者に対しても、小玉医師と奥山さんが中心となり、介護職員と連携しながら摂食・嚥下スクリーニング検査とフードテストを実施。その評価をふまえ、佐々木さんが対象者の嗜好を十分に加味しながら、安全な食形態を工夫して提供する経口移行アプローチを続けた。その結果、平成16年6月までで、経管栄養者52名中10名が食事またはおやつ

の経口摂取が可能になったという。

「今年の2月からは隣接する整形外科医院でVFによる検査を開始しました。またそれと同時に、摂食・嚥下障害に対する多職種協働の必要性を痛感したことから、適切なチームアプローチを行なうため、医師・看護師・管理栄養士・言語聴覚

士・歯科衛生士・薬剤師・介護職員からなるNSTを苑内に発足させました」(佐々木さん)

この苑内NSTは、経管栄養では微量元素の不足とタンパク質・エネルギー低栄養状態を招きやすことから、それらのリスクを低減し、経口に移行するために組織されたもの。現在、1カ月に1〜2回ミーティングを開き、血液検査値や身体計測値、VF検査結果などをふまえてNST対象者を決定。栄養サポート計画と嚥下訓練法などを検討している。

「NST回診は週2〜3回行なっています。当苑では入苑時に必ず、摂食・嚥下スクリーニングをしています。多職種協働で嚥下機能や意識レベル、全身状態などを評価し、経口移行が可能であるようならVFを実施してミーティングで栄養サポート法と経口移行アプローチを検討。回診でその経緯を見ながら、経口へ移行するようにしています」(奥山さん)

仕上げています」(佐々木さん)

同苑の目標は入苑者の在宅復帰。そのためには、口から食べられるようになり、家族と食事を楽しんでもらえる状態になつてほしいと語る佐々木さん。たとえ経口摂取の可能性がわずかでも、入苑者が「食べたい」と望むなら、全力でその可能性に賭けたいという。しかし、経口摂取が可能になつて在宅復帰したあとに、不適切な食形態を摂食することによって、誤嚥してしまうリスクも十分に考えられる。そこで佐々木さんは、退苑前には必ず家族に苑に来てもらい、トロミ食などの適切なつくり方を数回にわたって指導するという。

「もつとも悲しいのは、在宅復帰してから誤嚥を繰り返して経管栄養に戻ってしまう方々を見ることです。そうした方々は誤嚥を繰り返すうちに食べたいという意欲を失い、経口摂取が不可能な状態に陥ってしまうことも少なくありません。そのため、退苑されて通所するようになられた方々に対しても言語聴覚士が中心となつて嚥下訓練を行ない、誤嚥のリスクをできるだけ低減するよう努めています」

最新刊

監修：独立行政法人 国立健康・栄養研究所

## 日本人の 特定給食施設等における食事計画 編

### 食事摂取基準[2005年版]の活用

今春策定された「日本人の食事摂取基準(2005年版)」の活用方法を掲載した解説書。「病院」「高齢者施設」「特定給食施設」など、それぞれの現場に見合った活用法を具体的な事例とともに詳しく解説。巻末には、用語の説明、国からの各種通知関係、食品構成等の参考となるデータをなどを掲載。

ISBN4-8041-1111-5 A4判・128p 定価1,470円(本体1,400円)

最新刊

厚生労働省策定

第一出版編集部 編

## 日本人の食事摂取基準

### [2005年版]

国内外の関連文献を系統的にレビューし、過剰摂取による健康障害の予防に重点を置いた内容となった。これは、科学的根拠に基づき個人も対象にした欠乏症と生活習慣病の予防のための摂取範囲という前所要量の考え方を継承、前進させたもの。また、「真」の望ましい摂取量の測定は極めて困難なことから新たに確率的な考え方が導入された。

ISBN4-8041-1097-6 A4判・262P 定価2,415円(本体2,300円)



第一出版株式会社

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-39 TEL03(3291)4576 FAX03(3291)4579  
URL <http://www.daiichi-shuppan.co.jp> E-mail [daiichi-eigyo@my.email.ne.jp](mailto:daiichi-eigyo@my.email.ne.jp)